

2022年
7月29日(金)
14:00 ~ 17:00

参加費無料

会場

JICA関西（アクセスは裏面をご覧ください）
※感染状況によりオンラインで開催する場合がございます。ご了承ください。

内容

【第1部】実践報告
「大阪府立住吉高校におけるグローバル教育」
【第2部】分科会ワークショップ
「服・ファッションとSDGs」

対象

教職員、学生、開発教育・国際教育に関心のある方 先着 60名
大阪府の教職員で大阪府教育センター「グローバル教育を活用した授業づくり研修」として参加を希望される場合、別途、大阪府教育センターへお申込みください。

申込み **申込締切 7/22(金)**

右記QRコードまたは下記URLよりお申込み下さい。
<https://forms.office.com/r/fkPvAurXWW>



主体的・対話的で深い学びとは？

開発教育 国際教育 セミナー 2022 入門編

大阪府教育センター
「グローバル教育を活用した授業づくり研修」併催

グローバル化が進む現在において、一人ひとりの生徒が国際社会の課題や構造を理解していくことが求められています。本セミナーは、その実現に向けた学校教育現場での実践手法として、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点から探究的な学習について考える機会を提供します。

後援：
大阪府
大阪市教育委員会

協力：
(特活)開発教育協会DEAR

共催：
独立行政法人国際協力機構関西センター
大阪府教育センター
公益財団法人大阪府国際交流財団
公益財団法人大阪国際交流センター



プログラム

14:00～14:05

開会、日程概要・講師紹介について
担当：JICA関西 市民参加協力課

14:05～14:50

第1部【実践報告】

大阪府立住吉高校におけるグローバル教育

府立住吉高等学校 教諭 西本 陽子

本校は在日コリアンや帰国生、渡日生徒等の外国籍の生徒、長期留学生、中短期の訪問学生が多く、異なる文化を日常的に感じる学校です。語学力や国際理解、異文化理解を深める授業も充実しており、その成果を発揮する場として、様々な国際交流や異文化理解の行事が実施されています。

このような環境の中で生徒たちが心の中に国境をつくらず、異なる文化や立場に先入観や偏見を持つことなく、違いを認め尊重し合いながら協働するような姿勢を育てる教育活動を心がけています。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている今、この活動をどのように変化・発展させることができるのか考えていきます。

14:50～15:00

主催団体紹介

15:00～15:10

休憩

15:10～16:55

第2部【ワークショップ】

服・ファッションとSDGs

講師：（特活）開発教育協会（DEAR）副代表理事 佐藤 友紀

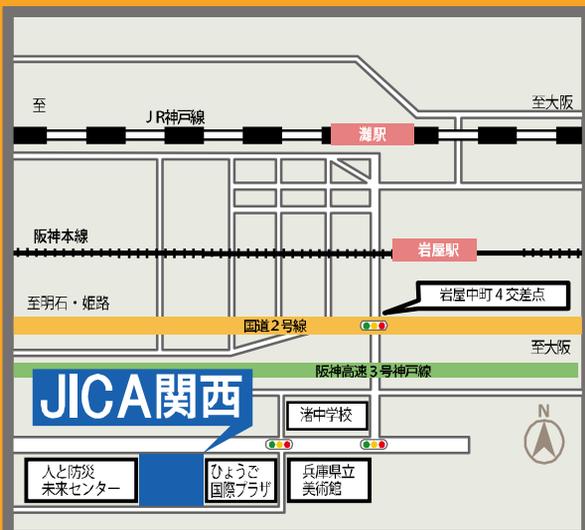
お気に入りの服を選ぶ、着ることは、私たちの生活を豊かにしてくれます。一方、衣料品の生産から流通、廃棄に至る過程で、さまざまな環境問題、人権問題が生まれています。新しい服を買うのはどんなとき？どれくらい着て、どうやって処分するの？互いに意見を交わしながら、服と社会問題について知り、「これまで通り」ではない方法で、自分らしくファッションを楽しむ方法を考え、持続可能な未来をめざしましょう。

*（特活）開発教育協会（DEAR）の最新教材『開発教育アクティビティ集5 服・ファッション』を使用します
(<http://www.dear.or.jp/>)。



16:55～17:00

まとめ、アンケート記入、閉会
担当：大阪府教育センター 指導主事 和田 雄樹



JICA関西

独立行政法人国際協力機構関西センター
〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

【アクセス】

JR灘駅から約970m

阪神岩屋駅から約770m

※駐車場はありませんので、公共交通機関または近隣の駐車場をご利用ください。

【お問合せ先】

JICA関西 市民参加協力課 開発教育支援事業担当
川崎 (かわさき)

電話：070-8714-7707

E-mail：jicaksic-renkei@jica.go.jp